

民間金融機関との協調融資 平成 30 年度上半期 59 件、108 億円

1. 協調融資の実績

沖縄振興開発金融公庫（理事長：川上好久、以下「当公庫」という。）は、民業補完を旨とし、民間金融機関との協調融資を行いながら、多様な資金ニーズにきめ細かく対応しています。

今年度から事業資金（一部を除く）の融資実績の協調状況をシステム登録しており、上半期の協調融資実績は、59 件、10,832 百万円となりました。

（注）協調融資：同一目的の資金計画に対し、民間金融機関と当公庫が協議等を経たうえで、両者が融資を決定したもの（両者の融資決定時期が異なる場合も含む）。

事業資金：産業開発資金、中小企業資金、生業資金（一部を除く）、生活衛生資金（一部を除く）、医療資金、農林漁業資金、住宅資金。

2. 民業補完の取り組み

当公庫は、平成 16 年 3 月に琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行、コザ信用金庫（以下「四行庫」という。）と「業務連携・協力に関する覚書」を締結するなど、日頃から協調、連携し、県内事業者の支援などを行っています。

また、昨年度から新たな取り組みとして、意見交換会（内閣府沖縄振興局・沖縄総合事務局共催）の開催や連絡窓口を開設するなど、一層の協調、連携に努めています。

（注）意見交換会：四行庫と当公庫の部長級が一堂に会し各種意見・情報交換を行う。年二回程度開催。

連絡窓口：四行庫の各機関が沖縄公庫と相対（課長級対応）で設置。個別案件に関する各種調整等を随時実施。

3. 分野別 協調融資の実績（平成 30 年 4 月～30 年 9 月）

（単位：件、百万円）

	件数	金額
小規模事業者	23	618
中小企業	25	2,614
農林漁業	1	100
大規模プロジェクト	6	7,078
その他	4	422
合計	59	10,832

お問い合わせ先



沖縄振興開発金融公庫
THE OKINAWA DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION

企画調査部業務企画課（担当：照屋）TEL 098 (941) 1740

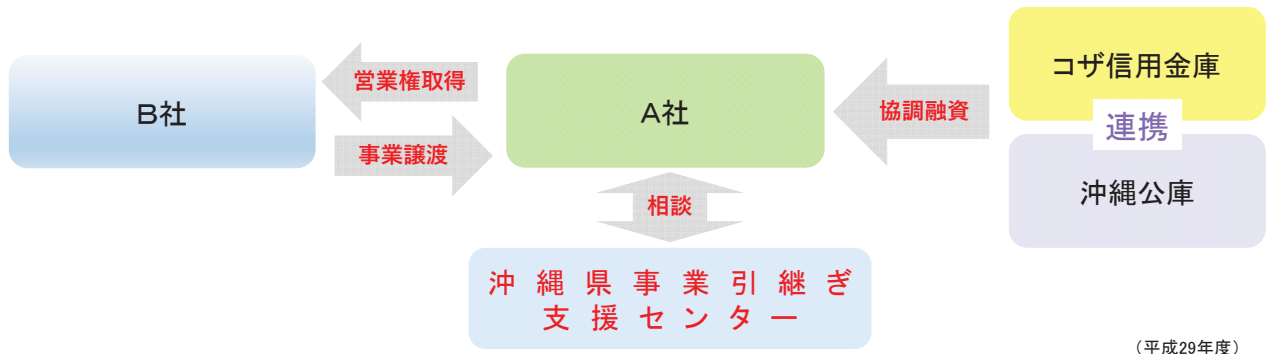
4. 協調融資の主な事例

民間金融機関との連携 協調融資事例①【事業承継】

顧客サービスの継続と従業員の雇用維持を目的とした同業他社への事業譲渡を協調支援

損害保険代理業B社は、代表者が高齢で後継者も不在であったことから、顧客サービスの維持と従業員の雇用を継続するため、同業他社であるA社への事業譲渡を打診。A社は、事業承継についてメインバンクであるコザ信用金庫に相談。その後、同金庫より沖縄県事業引継ぎ支援センターを紹介され事業承継に関するアドバイスを受けました。

B社とA社間で具体的な交渉が進展したことから、コザ信用金庫は沖縄公庫に対し協調融資の検討を提案。沖縄公庫はコザ信用金庫と連携して、事業譲渡に係る計画や譲渡価格について詳細な調整、協議を行いました。協調融資の実行により、B社の顧客との保険契約並びに従業員の雇用維持が円滑に行われました。

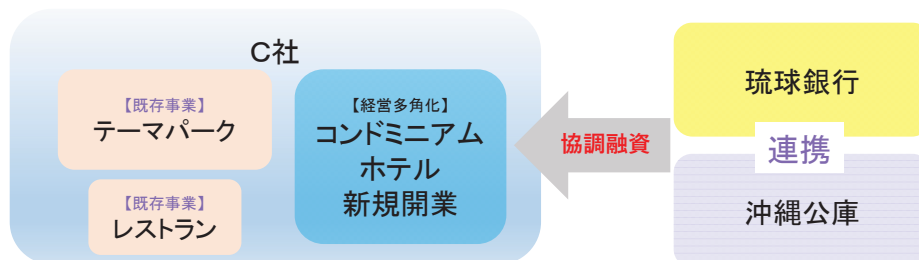


民間金融機関との連携 協調融資事例②【経営多角化】

外部環境の変化に対応した経営多角化を協調支援

名護市においてテーマパーク事業を運営するC社は、近隣を通る道路の整備により観光客(観光バスやレンタカー)の往来が変化したことから、経営の多角化を検討していました。増加する外国人観光客などの観光需要を踏まえ、ファミリー層やグループ層といった比較的大人数の観光客に対応したコンドミニウムホテルをテーマパークに併設する積極的な経営戦略を計画しました。

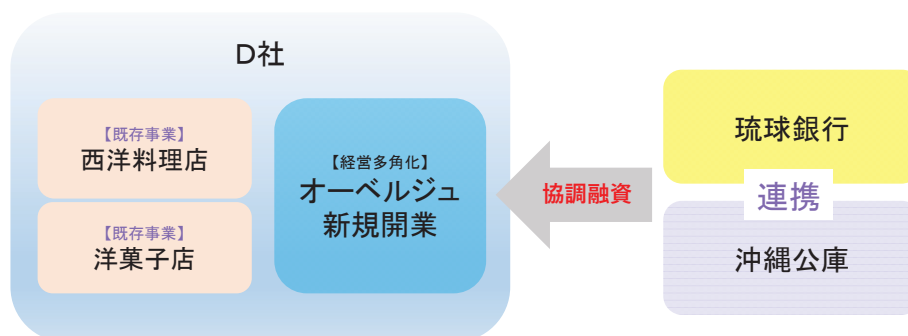
沖縄公庫は、C社のメイン行である琉球銀行と連携して、ホテル新規開業計画について詳細な調整、協議を行いました。協調融資の実行により、C社の経営基盤の強化と地域の観光リゾート産業の発展が期待されます。



民間金融機関との連携 協調融資事例③【新規開業(経営多角化)】

宮古島における新規開業を協調支援

東京都内においてフレンチをメインとした西洋料理店や洋菓子店を運営するD社は、宮古島市でヴィラタイプのオーベルジュ(宿泊施設のあるレストラン)新規開業を計画し、県内金融機関の琉球銀行に相談しました。琉球銀行から協調融資の検討を提案された沖縄公庫は、D社のオーベルジュ新規開業計画について同行と詳細な調整、協議を行いました。協調融資の実行により、D社の宮古島における新規開業と宮古圏域の観光リゾート産業の発展が期待されます。

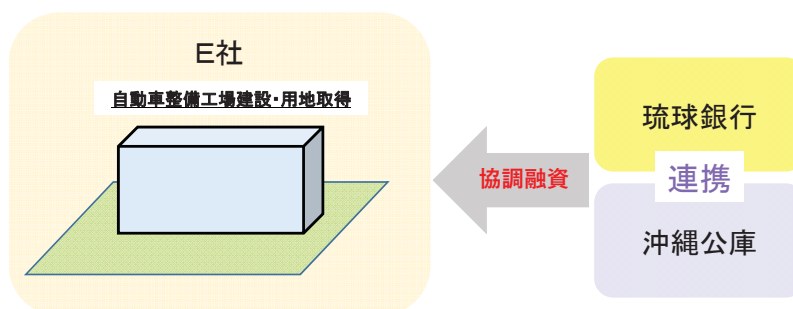


(平成30年度)

民間金融機関との連携 協調融資事例④【創業】

自動車整備工場の新規開業を協調支援

自動車整備工場の新規開業を計画していたE社が沖縄公庫に相談。沖縄公庫は開業計画に関する意見交換をE社と重ねるとともに、E社に対し民間金融機関の活用を提案しました。E社は琉球銀行にも相談を開始、沖縄公庫は琉球銀行とも必要な情報の交換等を行いました。

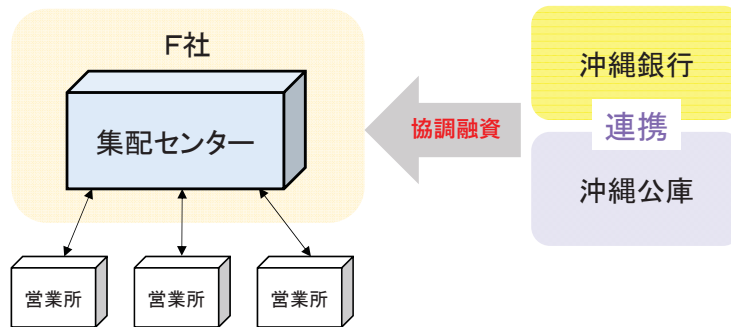


(平成30年度)

民間金融機関との連携 協調融資事例⑤【生産性向上】

需要増加に対応した能力増強投資を協調支援

各種介護用具のレンタルを主業とするF社は、需要の増加に対応するため、各営業店で行っていた取扱用具の保管、配送、メンテナンス業務を集約するため、「配送センター」の建設を計画。沖縄公庫は、メイン行である沖縄銀行と連携し、同建設に対し協調融資を実行しました。増加する介護用具の需要への円滑な対応が可能になるなど、F社の事業基盤強化が期待されます。



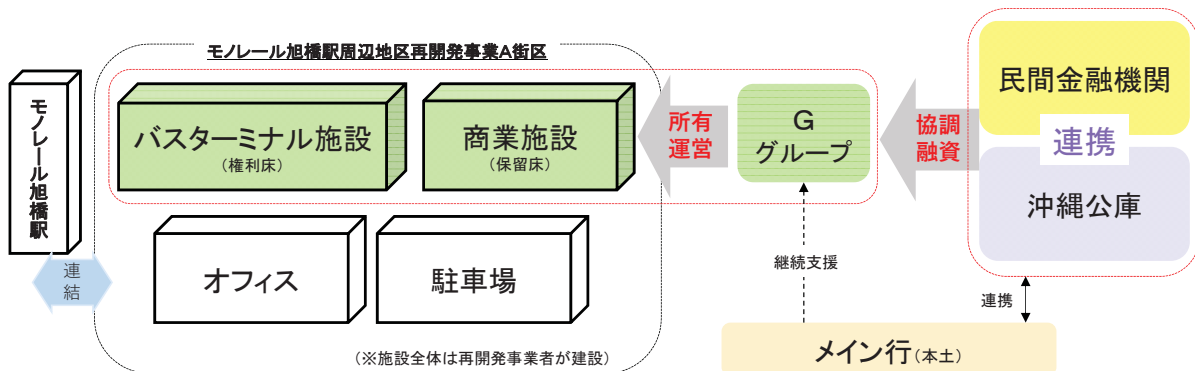
(平成30年度)

民間金融機関との連携 協調融資事例⑥【産業基盤整備】

陸上交通の要衝である那覇バスターミナルを含む市街地再開発事業を協調支援

タクシー・バス事業を主業とするGグループは、自らが所有・運営する那覇バスターミナル施設(権利床)を含むモノレール旭橋周辺地区市街地再開発事業において、商業施設(保留床)を取得し一体的に運営することにより、同事業のコンセプトである「にぎわいのある街づくりの形成促進」に貢献。

沖縄公庫は、長期にわたり同事業を継続支援してきた民間金融機関と協調して必要な資金の融資を実行しました。沖縄における経済の振興及び社会の開発に資することに期待されます。

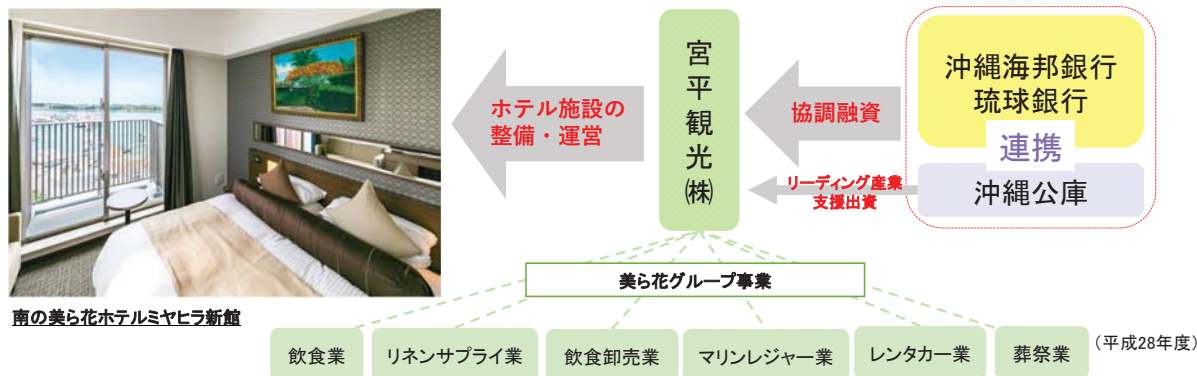


(平成30年度)

民間金融機関との連携 協調融資事例⑦【リーディング産業支援・地方創生】

八重山地域の観光振興に資するリーディング産業を協調支援

宮平観光(株)は、地元資本の老舗企業として、石垣市にて「南の美ら花ホテルミヤヒラ」を運営しています。また、同社を中核とする美ら花グループは、リネンサービスや飲食業、マリンレジャー等幅広く事業を展開しています。同社は、長年の運営によるホテル施設の老朽化が経営課題となっていたことから、顧客満足度の高い施設整備を行うことで事業基盤をより強固にし、さらなる事業成長を企図していました。当公庫は、同社の成長戦略の支援や当該圏域の付加価値向上を図るべく、平成28年9月に離島初のリーディング産業支援出資を実行するとともに、同年12月に沖縄海邦銀行、琉球銀行と協調融資を行いました。平成30年6月にホテル新館が完成し、利便性の高いシティ型リゾートホテルとして、八重山地域の観光振興に資することが期待されます。



民間金融機関との連携 協調出資事例⑧【産業基盤整備】

成長するアジア航空市場を見据えた新たな産業クラスターの中核となる国内初のMRO事業を協調支援

MROJapan(株)の航空機整備事業は、沖縄振興計画(沖縄21世紀ビジョン基本計画)に示されている「航空関連産業クラスターの形成」に資する旗艦事業で、国際物流拠点を形成する重要なプロジェクトの一つです。また、同事業は経済産業省による「地域未来牽引企業」に選定されているほか、関係省庁が策定した「航空産業ビジョン」でも推進が明記されているなど、国の成長戦略としても期待されています。当公庫は、長期的な成長戦略を支援するため、琉球銀行、沖縄銀行、沖縄海邦銀行と協調して出資を行いました。同事業の展開により、関連企業の誘致や新たなビジネスの展開による航空関連産業クラスターの形成が期待されます。

航空機整備基地(那覇空港)

※国有地上に沖縄県が施設(建物)を整備し、同社へ賃貸。

